

ちゅうすいえん 虫垂炎について

平成 22 年度
データ

ちゅうすいえん
虫垂炎とは

ちゅうすいえん
虫垂炎の分類

ちゅうすいえん
虫垂炎の検査

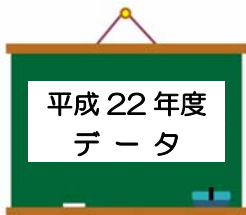
ちゅうすいえん
虫垂炎の治療

標準的な入院
スケジュール

※上の目次をクリックするとそれぞれの項目に移動します。

(項目が見あたらない場合は、同じページ内にありますので、下にスクロールしてみてください。)

※文字を大きくしたい場合は、マウスを右クリック→【ズームツール⇒ズームイン】にて調整
してみてください。

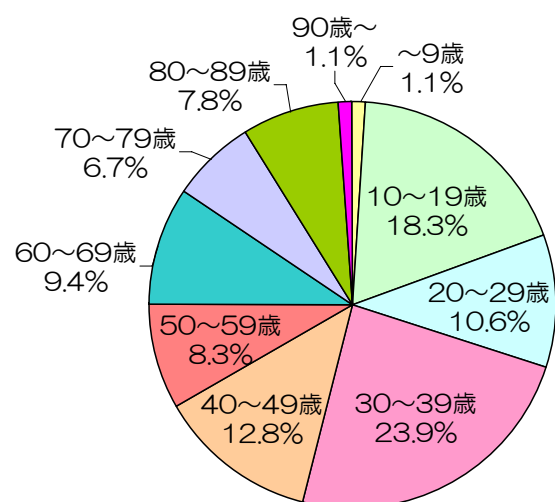


◎入院患者数◎

虫垂炎で入院した患者数	180人
-------------	------

◎年齢構成◎

～9歳	2人
10～19歳	33人
20～29歳	19人
30～39歳	43人
40～49歳	23人
50～59歳	15人
60～69歳	17人
70～79歳	12人
80～89歳	14人
90歳～	2人
虫垂炎で入院した患者の平均年齢	42.4歳

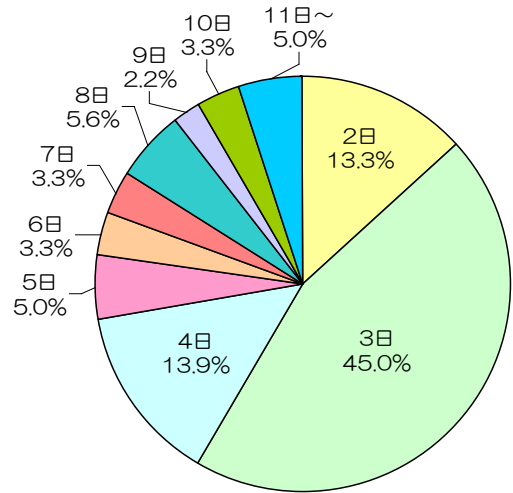


◎ 在院日数 ◎

虫垂炎で入院した患者の平均在院日数	4.9日
当院に入院した患者の平均在院日数	14.6日

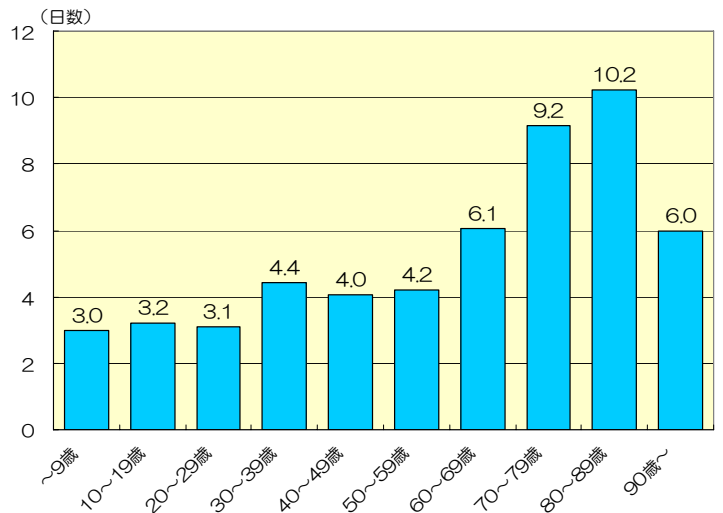
◎ 虫垂炎で入院した患者の在院日数による分布 ◎

2日	24人
3日	81人
4日	25人
5日	9人
6日	6人
7日	6人
8日	10人
9日	4人
10日	6人
11日～	9人



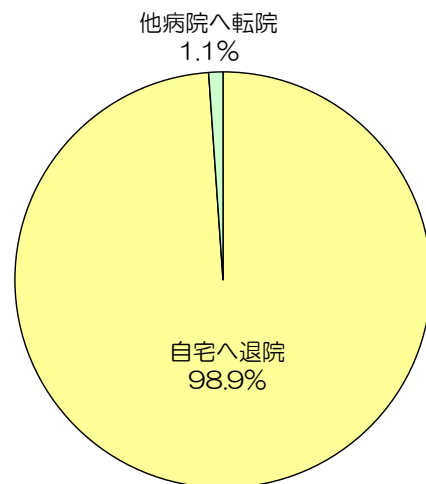
◎ 年齢別平均在院日数 ◎

～9歳	3.0日
10～19歳	3.2日
20～29歳	3.1日
30～39歳	4.4日
40～49歳	4.0日
50～59歳	4.2日
60～69歳	6.1日
70～79歳	9.2日
80～89歳	10.2日
90歳～	6.0日
虫垂炎で入院した患者の平均在院日数	4.9日

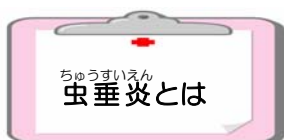


◎退院状況◎

自宅へ退院	178人
他病院へ転院	2人



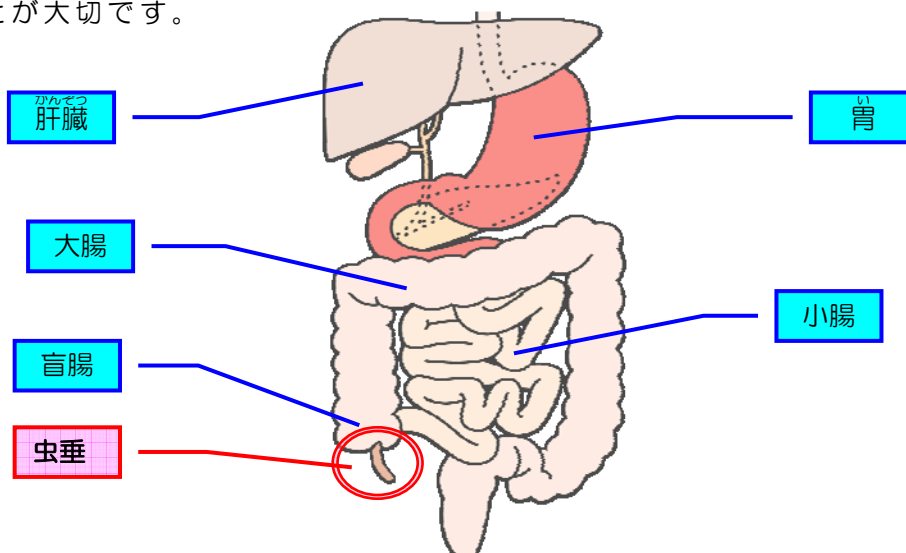
※掲載した統計は、DPC データを用いたものです。DPC データは、入院中の「最も医療資源を投入した傷病名」による分類に基づきます。

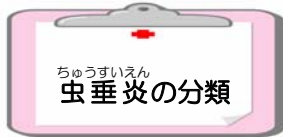


虫垂とは、しょうちよう 小腸（回腸）と かいちよう 大腸（盲腸）の間に位置する小さい指形ののう 嚢（袋状の臓器）です。この部位に何らかの原因で炎症を起し、腫れ上がる病気を急性虫垂炎といいます。俗に“盲腸”ともよばれています。

一般的な症状は、右下腹部に痛みが出ますが、初期の段階ではみぞおちの痛み、吐き気、お腹全体の不調だけのこともあります。

虫垂炎そのものは深刻な病気ではなく、こうせいざい 抗生剤の投与や、比較的簡単な手術で治療することができます。しかし、虫垂炎が進行し、虫垂が破裂したり、ほかの組織と癒着すると、ゆちやく 腹膜炎や ふくまくえん 腸閉塞など危険な合併症を引き起こし、ちようへいそく 大がかりな手術が必要になってしまいますので、早めに医療機関を受診することが大切です。





急性虫垂炎の症状が出現して時間が経過すると、次のように進行していきます。

◎カタル性虫垂炎◎

最も軽度な炎症で、点滴による抗生剤の投与でも治療が可能な状態。



◎蜂窩織炎性虫垂炎◎

炎症が進み、虫垂の壁は破れていないものの、膿が虫垂の内部に充満していたり、虫垂の表面に膿を認め、手術が必要な状態。



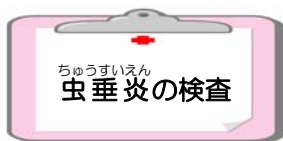
◎壊死性虫垂炎◎

さらに炎症が進むと壊死に至り、虫垂の壁が腐って破れ、腹膜炎を起こす危険性があり、手術が不可欠な状態。



◎汎発性腹膜炎◎

虫垂の壁が腐って破れ、膿が下腹部へ広がってしまい、お腹全体に炎症が広がった状態。



虫垂炎の診断では、先ず、触診と血液検査が行われます。必要に応じて、腹部超音波検査、CTスキャンなどで検査します。虫垂炎の検査では、虫垂炎だけに特有な症状や検査所見があまりないので、正確な診断が難しいこともあります。右下腹部の腹痛には、虫垂炎以外の疾患も考えられるためです。

◎腹部触診◎

腹部を触ったり押したりして、痛みの箇所や、腹筋の状態を調べます。

◎血液検査◎

発症から約12時間を経過すると、血液検査で白血球数が増え、炎症反応（CRP）が上昇するため、血液を採取し検査を行います。

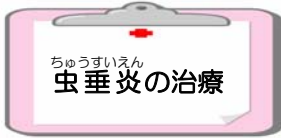
◎腹部超音波検査◎

超音波（耳で聞こえる音よりも非常に高い音）を用いて、虫垂やお腹の中を観察する検査です。

◎CTスキャン◎

X線撮影装置で、360度の方向から放射線を体に当て、身体の内部をコンピュータによって輪切り画像を作成し、お腹の中の状態を調べます。

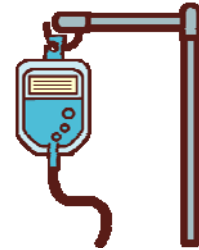




炎症が軽度な場合には^{こうせいざい}抗生剤による治療、いわゆる“^ち散らす”こともできますが、多くの場合、手術による治療が簡単で安全なこともあって、虫垂切除術が行われるのが普通です。

◎抗生剤治療◎

炎症が軽度であれば、適切な抗生剤の投与で治療することができます。しかし、再発の危険があります。



◎手術治療◎

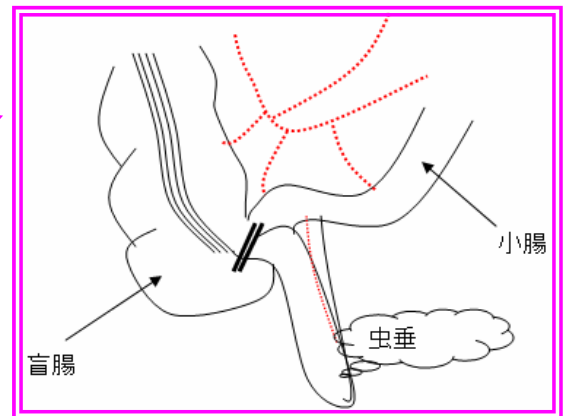
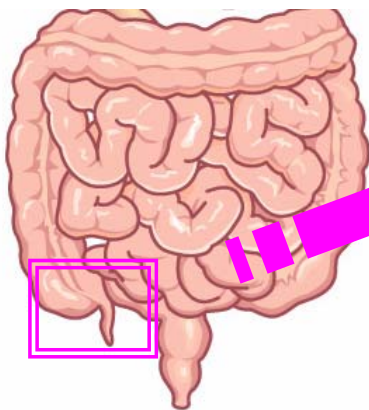
【虫垂切除術】

治療日程の概要をみる

^{みぎかゝらへ}右下腹部を数 cm にわたって切開し、虫垂の切除を行います。

【腹腔鏡下虫垂切除術】

お腹に 1 cm 前後の小さな傷を何カ所かつけて穴を開け、1 つの穴から腹腔鏡を挿入してお腹の中をテレビモニターに映して観察し、別の穴から、^{かんし}鉗子という細いマジックハンドの様な器具を使って、虫垂の切除を行います。



【腹膜炎手術】

炎症が進み、虫垂が腐ったり穴が開いてしまうと、^{うみ}膿や腸液が漏れ、虫垂の外にまで炎症が及んでしまいます。

治療日程の概要をみる

炎症の部位が限られているものを『^{げんきよくせいふくまくえん}限局性腹膜炎』と言い、お腹全体に炎症が広がってしまったものを『^{はんはつせいふくまくえん}汎発性腹膜炎』と言います。

治療日程の概要をみる

このような場合には、虫垂を切除するとともに、お腹の中の洗浄も行います。

このページの
先頭へ戻る



標準的な入院スケジュール

当院では治療や検査を進める標準的なスケジュール表をあらかじめ作成しています。スケジュール表に沿った治療、検査を行うことで、治療内容や安全性を一定に保つことができます。（緊急入院や合併症のある場合などは、個別にスケジュールを立てることがあります。）当院での、ちゅうすいえん虫垂炎の治療に対応するスケジュール表は3種類あり、主な内容は以下のとおりです。

＝治療＝

- ◆ ちゅうすいせつじょじゆつ虫垂切除術
- ◆ げんきょくせいふくまくえん限局性腹膜炎を伴う虫垂切除術
- ◆ はんはつせいふくまくえん汎発性腹膜炎を伴う虫垂切除術

◎ 虫垂切除術 ◎

経過	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後1日目	術後2日目
食事	 食べたり飲んだりできません。	 手術後6時間後からお水やお茶が飲めます。	 朝食からおもゆがでます。昼食から5分粥がでます。夕食から全粥がでます。	 朝食から普通のご飯がでます。
安静度	 ベットから降りないで下さい。ベットの上では自由です。	 手術後4時間はベットから降りないで下さい。ベットの上では自由です。その後は病院の敷地内であれば制限はありません。	 病院の敷地内であれば制限はありません。	
清潔	 身体を拭きます。		 身体を拭きます。	
内服		 夜に痛み止め等を飲みます。	 痛み止め等を飲みます。	
注射	 手術前から点滴を行います。	 手術後の点滴を行います。	 午前から点滴1本を行いません。朝と夕に抗生剤の点滴を行います。	
処置療	 手術前におへそをきれいにします。手術を行います。		 傷の様子を診ます。	
説明導	 麻酔科医より麻酔の説明があります。	 医師より手術後の説明があります。	 薬剤師より薬について説明があります。	 医師と看護師より退院後の生活について説明があります。



げんきよくせいりよくまくえん ちゅうすいせつじょじゅつ
◎限局性腹膜炎を伴う虫垂切除術◎

経過	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目
食事	 食べたり飲んだりできません。	 手術後6時間後から水やお茶が飲めます。	 朝食からおもゆがです。 昼食から五分粥がです。 夕食から全粥がです。	 朝食から普通のご飯がです。			
安静度	 ベットから降りないで下さい。ベットの上では自由です。	 手術後4時間はベットから降りないで下さい。ベットの上では自由です。その後は病院内であれば制限はありません。	 病院内の敷地内であれば制限はありません。				
清潔			 身体を拭きます。	 シャワー浴ができます。			
内服		 夜に痛み止め等を飲みます。	 痛み止めを飲みます。				
注射	 手術前から点滴を行います。	 手術後の点滴を行います。	 午前から点滴1本を行いません。朝と夕に抗生剤の点滴を行います。	 朝と夕に抗生剤の点滴を行います。			
検査			 検査 血液検査を行います。			 検査 血液検査を行います。	
処置療	 手術前におへそをきれいにします。手術を行います。		 傷の様子を診ます。				
説明指導	 麻酔科医より麻酔の説明があります。	 医師より手術後の説明があります。	 薬剤師より薬について説明があります。				 医師と看護士より退院後の生活について説明があります。

はんはつせいりよくまくえん ちゅうすいせつじょじゅつ
◎汎発性腹膜炎を伴う虫垂切除術◎

経過	手術当日：術前	手術当日：術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目
食事	 食べたり飲んだりできません。			 お水やお茶が飲めます。	 朝食からおもゆが出ます。
安静度	 ベットから降りないで下さい。ベットの上では自由です。	 手術後4時間はベットから降りないで下さい。ベットの上では自由です。その後は病院内であれば制限はありません。	 病院内の敷地内であれば制限はありません。		
清潔			 身体を拭きます。	 おなかの管が抜けたらシャワー浴ができます。	
注射	 手術前から点滴を行います。	 手術後の点滴を行います。	 24時間点滴を行います。朝・昼・夕に抗生剤の点滴を行います。	 午前から点滴3本を行いません。朝・昼・夕に抗生剤の点滴を行います。	 午前から点滴2本を行いません。朝・昼・夕に抗生剤の点滴を行います。
検査			 検査 血液検査を行います。レントゲン撮影を行います。		 検査 血液検査を行います。
処置療	 おへそをきれいにします。	 手術を行います。手術中にお腹に管が入ります。	 傷の様子を診ます。		 様子を見てお腹の管を抜きます。
説明指導	 麻酔科医より麻酔の説明があります。	 医師より手術後の説明があります。			

（次のページに続きます）

経過	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目
食事	 朝食から5分粥が出ます。	 朝食から全粥が出ます。	 朝食から普通のご飯が出ます。		
安静度	 病院の敷地内であれば制限はありません。				
清潔	 おなかの管が抜けたらシャワー浴ができます。			 入浴ができます。	
注射	 午前から点滴1本を行います。				
検査				 検査 血液検査を行います。	
処置療	 傷の様子を診ます。				
説明指導					 医師と看護師より退院後の生活について説明があります。



※掲載されている「入院スケジュール」等は、平成 23 年 5 月 1 日現在のものです。内容は変更となる可能性があります。